

部局目標 [2020年度]

局名	名古屋拠点放送局
----	----------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	人々の命と暮らしを守り、地域の課題や魅力を積極的に発信します。	◇南海トラフ巨大地震への備え、記録的豪雨などの自然災害への対応を強化し、災害時のマルチ発信を的確に遂行 ◇選挙報道では、公平・公正、正確・迅速な情報を提供 ◇平日夕方のニュース・情報番組の充実とともに、中部地方共通の課題に向き合う番組や東海3県向けの地域密着番組を制作 ◇中部地方の魅力を取り上げた番組を制作するとともに、4K・8Kにも積極的に展開 ◇ドラマやエンターテインメントなど幅広い世代の関心に応える多彩なジャンルの番組を制作 ◇「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、地元ゆかりのアスリートなどを積極的に取り上げ、地域を盛り上げるとともに、プロ野球やサッカーJリーグなど地域のスポーツを応援 ◇変わりゆく地域の将来を見つめるコンテンツを制作	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	視聴者コミュニケーション活動を充実させ、支払率・衛星契約割合の向上に取り組みます。	◇公開番組の収録やイベント開催などの地域サービスを展開するとともに、受信料の理解促進に全局体制で取り組み、幅広い世代の視聴者との結びつきを強化 ◇4K・8Kの認知度向上・普及促進活動を積極展開 ◇より効率的、効果的な営業活動の推進により、受信料の公平負担を徹底	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	業務改革を推進し、創造性を発揮できる職場と信頼される拠点放送局を目指します。	◇名古屋放送局に関わるすべての人の健康に留意し、「NHKグループ 働き方改革宣言」を着実に遂行 ◇既存業務を東海北陸ブロック全体で見直すことにより効率的な業務運営を推進し、拠点放送局として効果的な経営資源の活用と域内局への支援・調整機能を強化 ◇コンプライアンスを徹底するとともに、リスクマネジメントを強化	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	金沢放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「より親しまれる放送局」を目指し、地域の人々をつなぐ核となります	<ul style="list-style-type: none"> ◇開局90周年プロジェクト関連で、イベント・番組の集中編成などを実施し、地域サービスをいっそう充実させます。 ◇民放やCATV、学校、NPOなど地域の人々との連携を深めて、共にコンテンツ制作を行う土台を築きます。 ◇法人パートナーの開発を進め、地域に根差した営業活動の基盤強化を図ります。 	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の課題に正面から取り組むと同時に、地域の魅力を積極的に発信します	<ul style="list-style-type: none"> ◇「地域ファースト」を意識したきめの細かい災害報道や、地域課題に向き合ったニュース・番組を制作します。 ◇災害を想定した地域放送網の整備を進め、放送の安定送出を確実に実施します。 ◇地域の文化・芸術の魅力を様々な伝送路を活用して積極的に発信し、地域振興に寄与します。 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	新しい時代に合わせた組織と働き方に挑戦します	<ul style="list-style-type: none"> ◇既存の業務フローを積極的に見直し、機動的で、風通しの良い組織風土を実現します。 ◇記者や技術の「泊り勤務」見直しなど、北陸三局で連携し、新しい時代の地域放送局の働き方の検討・試行を行います。 ◇「勤務の見える化」など働き方改革の動きを加速し、組織風土として定着させます。 	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	静岡放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の皆さまの安全・安心な暮らしに貢献する防災・減災情報の発信拠点として、いかなる災害の際にも的確な放送・サービスを展開し、正確な情報を迅速かつきめ細かく発信します。	<p>◇台風、大雨や河川の氾濫、竜巻などの災害が発生した場合、地域の皆さまが必要とする正確な情報を、地域放送やインターネットで迅速かつきめ細かく発信します。情報発信を早めに開始して備えを呼びかけ、地域の防災・減災に貢献します。</p> <p>◇巨大地震や大津波、富士山噴火など、大規模災害が発生した場合にも的確に放送・サービスが展開できるよう、マニュアルを不断に見直し万全の備えを進めていきます。</p> <p>◇放送会館を安定運行するとともに設備整備も進め、地域の皆さまを守る情報発信拠点として強靱な体制を構築します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域改革を推進して静岡県の活性化・課題解決・質の高い文化の創造に貢献し、NHKの地域での存在感をさらに高めるとともに、より多くの視聴者の皆さまにとって、身近で役に立つ放送・サービスを展開していきます。	<p>◇地域経済の停滞、人口減少と少子高齢化、教育や医療・福祉など地域の課題に正面から向き合い、解決策を模索することで地域活性化・課題解決に貢献します。</p> <p>◇静岡県の多彩な魅力を全国へ、そして世界に発信していくとともに、東京オリンピック・パラリンピック関連のニュースや番組なども積極的に展開し、県内の機運を盛り上げていきます。</p> <p>◇各種調査を実施して地域の視聴者ニーズを的確に把握し、610と金曜730の更なる充実を図り地域における存在感を高めていきます。</p> <p>◇放送を軸にデジタルやイベントなど、あらゆるタッチポイントを活用した視聴者コミュニケーション活動を強化するとともに、「NHK+」の運用開始を踏まえ、デジタルツールやSNSを活用した新たなサービスの開発に取り組みます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	活力あふれるクリエイティブな職場とするため、最新のITオフィス環境を生かした効率的でやりがいのある新たな働き方の創出を目指します。コンプライアンスを徹底させるとともに、受信料制度の理解促進と公平負担の徹底を地域放送・サービスの充実とも連携させながら推進します。	<p>◇既存業務を見直し、最新のITオフィス環境を生かして、効率的でやりがいのある、ポジティブで新しい働き方の創出を目指します。職員業務の高度化と一人一人が成長を実感できる人材育成を行い、活力あふれるクリエイティブな職場作りを進めます。</p> <p>◇地域の皆さまの受信料制度への理解促進と公平負担の徹底を、地域改革による地域放送・サービスの充実とも連携させながら推進していきます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 福井放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針
1	「幸福度キャンペーン」の取り組みなど地域に向けた放送・放送関連サービスを充実させるとともに、福井の魅力を全国に発信し地域での公共メディアの役割を果たします。	<p>◇これまでの幸福度キャンペーンを進化させ、地域が抱える様々な課題により深く向き合う。視聴者からの声を共有し、解決の糸口を模索できるような場にしていく。</p> <p>◇子どもたちに人気の高い恐竜や、大河ドラマの舞台・一乗谷遺跡など、福井の魅力を全国放送で発信していく。</p> <p>◇外部の公的施設での8K公開や教育機関への働きかけ、地域密着型の独自イベントやSNS展開など、放送以外のサービスで地域でのNHKの存在感を高める。</p>	<p>“公共メディア”への進化 ✓</p> <p>多様な地域社会への貢献 ✓</p> <p>未来へのチャレンジ ✓</p> <p>視聴者理解・公平負担を推進</p> <p>創造と効率、信頼を追求</p>
2	災害や原発など緊急報道によって地域の安心安全を守り、広域的な地域の課題と向き合います。隣接する各局とのつながりを深めると同時に地元メディアや関係機関とも連携しながら、地域放送局のあり方を模索します。	<p>◇文化的な背景や風土が似かよった北陸3局の間で、それぞれが連携しながら共有できる課題に目を向け、同時に全国に発信できるテーマに取り組むなど、地域単位でのサービスを模索する。</p> <p>◇多発する気象災害に備えて緊急報道を充実させるとともに、民放各社や地元新聞、ケーブルテレビ、関係諸機関が連携し、一丸となって視聴者サービスの可能性を探り、県民の安心安全を守るために尽力する。</p> <p>◇原子力発電所の動きや安全への課題をきめ細かく報道するとともに、原発の影響が及ぶ、京都局、大津局とも連携しながら原子力災害への知見を共有し、万が一の事故に備える。</p>	<p>“公共メディア”への進化 ✓</p> <p>多様な地域社会への貢献 ✓</p> <p>未来へのチャレンジ ✓</p> <p>視聴者理解・公平負担を推進</p> <p>創造と効率、信頼を追求</p>
3	働き方改革や業務改革、コンプライアンスを徹底するとともに、受信料の公平負担徹底に取り組み、地域で信頼されるNHKを目指します。	<p>◇働き方改革については、新しい法的基準を遵守しながら、一方では数字だけにとらわれないメリハリある職場をめざす。</p> <p>◇事務部門改革のパイロット局として、より高度な業務に対応できるよう業務改革と体制整備を進める。</p> <p>◇受信料の公平負担徹底については、地域のケーブルテレビ局などと連携を進め、11年連続の全営業目標達成を目指す</p> <p>◇北陸地域全体で働きやすい環境を模索するためには、北陸3局での連携をいかに。</p>	<p>“公共メディア”への進化</p> <p>多様な地域社会への貢献</p> <p>未来へのチャレンジ</p> <p>視聴者理解・公平負担を推進 ✓</p> <p>創造と効率、信頼を追求 ✓</p>

部局目標 [2020年度]

局名 富山放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の“安全・安心”を守る取り組みをはじめ地域課題に向き合った放送・イベントを高いコスト意識をもって効率的に制作・実施することで、県域放送・サービスのさらなる強化を実現するとともに、富山の魅力を全国・世界に積極的に発信し、地域社会の活性化に貢献する。	◇地域放送にかける予算を抑制しつつ、効率的な番組制作・編成によって視聴者の満足度を高めることが出来ているかどうかを定期的に検証する。 ◇610企画から番組化、全国放送化を図るワンリソース・マルチユースをさらに徹底する。 ◇富山の自然や歴史などの魅力を描く番組を制作し、全国放送さらには国際発信を実現する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	新会館がオープンする2022年に向けて建設計画を着実に遂行するとともに、視聴者コミュニケーションの強化など公共メディア時代の地域放送局のあるべき姿を北陸他局や地元メディア等と協力・連携しながら切り開く。	◇「地域のハブ」となる公共メディアを目指して、ケーブルテレビなど地元メディア、地元シンクタンク等との協力・連携を深める。 ◇SNS発信の強化や富山局独自のイベント実施を通して視聴者コミュニケーションを強化する。 ◇北陸3局が協力・連携してニュース企画などの共同開発を推進する。 ◇610「ニュース富山人」の中で、地域の未来を考える「とやま、ここから」の関連企画を定期的に放送する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	計画的な営業戦略により受信料の公平負担の徹底を図る。またコンプライアンスの徹底と職場の風通しのさらなる向上を図るとともに、次代を担う人材育成に力を入れて取り組む。	◇全ての営業目標を確実に達成する。 ◇職場環境評価アンケートの総合満足度アップを実現する。 ◇リスクマネジメント委員会の一層の活性化などリスク管理体制を強化し、リスクの早期発見・解決を徹底する。 ◇デスク交換など北陸3局間の人材交流を活発にし、次代の公共メディアを担う人材の育成を促進する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	津放送局
----	------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	県民の安全・安心を守る「公共メディア」として災害報道に全力をあげるとともに、防災・減災報道に積極的に取り組み、地域住民に向けた正確で迅速な情報発信を行います。	<p>◇災害報道、事件・事故など事実に基づいた報道を行い、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たします。</p> <p>◇南海トラフ巨大地震および津波浸水被害への備えとして防災・減災報道を定期的に発信し、三重県民の生命と安全を守ります。</p> <p>◇災害報道、防災・減災報道を通じ、地元の人たちの暮らしを災害や事件・事故から守る報道、および地域の安全・安心の向上を図ります。</p> <p>◇放送の安定送出と電波確保に努めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
2	開局80年イベントを通じて「公共メディア」への進化を目指すNHKの理解促進を図るとともに、いろいろな番組コンテンツを展開して三重県の魅力を国内外に発信し、地域の活性化と三重の活力ある未来の創造に貢献し、視聴者満足度の向上を図ります。	<p>◇開局80年に連動した会館公開や番組連動イベント、公開派遣番組など、年間を通じた視聴者コミュニケーション活動を積極的に展開し、2万人以上の視聴者と触れ合って、地域の活性化への貢献の向上を図ります。</p> <p>◇「まるっと！みえ」などの地域放送番組を通じて地域の課題に向き合うとともに、4K・8K・インターネットなどさまざまなメディアを生かして、三重県の伝統文化や豊かな自然環境など地域の魅力を国内外に発信し、地域課題への問題意識の喚起、地域の課題改善・解決事例を全国へ発信、地域の活性化への貢献、生活・文化の水準の向上を図ります。</p> <p>◇年間を通じた視聴者コミュニケーション活動や多彩で質の高い番組コンテンツの提供を通じて、さまざまなサービスで地域の活性化に貢献すると共に「地域サービスの接触状況」を向上させ「NHKと視聴者の距離」を縮めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	受信料の公平負担の徹底に努め、地域の皆様に親しまれる放送局を目指します。	<p>◇全局的な営業支援を積極的に行い、全営業目標達成に取り組めます。</p> <p>◇地元との結びつきを強め、法人事業者、ケーブルテレビや特約店との連携を強化し、更なる取次ぎ実績の向上を図ります。</p> <p>◇お客様対応の品質向上に努めます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	コンプライアンスを徹底し、職員・スタッフひとりひとりの働き方改革と業務改革への意識定着を図り、創造的で活力のある職場作りに努めます。	<p>◇計画的な業務運営と計画的な休暇取得により、「働く」「休む」のメリハリをしっかりとつけ、創造性と活力のある職場作りを進めます。</p> <p>◇職員・スタッフひとりひとりが「公共メディア」を担う者として「コンプライアンスファースト」を実践し、協会ルールの順守と適正経理を推進します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 岐阜放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の皆さまの安全・安心を守る拠点として防災・減災報道、安定した送風の維持に全力で取り組むとともに、定時放送番組の充実、全国、海外への情報発信など、地域放送の魅力アップで、地域サービスに努めます。	<p>◇防災・減災報道のための体制を強化し、職員・スタッフのスキルアップや安定送風維持のため、定期的な訓練を実施する。災害時の地域からの発信に加え、L字放送や避難情報、ライフライン情報のマルチ発信で、地域の安全・安心に貢献します。</p> <p>◇地域改革の軸となる「まるっと！ぎふ」の内容充実。ニュース、番組の全国、海外への発信で、地域放送のさらなる魅力アップをはかり、地域サービスに努めます。</p> <p>◇地域の魅力や課題をテーマにした「ぎふスペシャル」を金曜730を中心に編成、地域を取り上げた全国放送番組を加えて、県域放送のさらなる充実をはかり、地域におけるNHKの存在をアピールします。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域社会、地域メディアとの連携で効果的・効率的に地域サービスを強化し、視聴者コミュニケーションの充実や営業活動にも結び付けます。	<p>◇岐阜県が舞台となった大河ドラマ「麒麟がくる」の放送で築いた地域社会、県内の民放やケーブルテレビ局との連携、さらにNHK内の舞台地関係局との連携を維持、発展させて「岐阜県を元気にする」活動の核となる。地域放送局としてのステーションイメージの向上に努めます。</p> <p>◇営業部や企画編成部の提案による番組開発など、全局体制で地域の皆さまとのコミュニケーションの充実に努めます。</p> <p>◇地域からの信頼を第一の目標に、ケーブルテレビ局との連携等も継続し、ていねいな視聴者対応と営業活動に取り組みます。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	オフィス改革を進めるとともに、コミュニケーションの一層の活性化を図り、職員・スタッフが個性と能力を十分に発揮できる、風通しのいい働きやすい職場をつくります。	<p>◇既存業務の見直し、効率化と働き方改革をいっそう進め、公共メディアへの進化を担う若手職員が力を発揮できる環境づくりに努めます。</p> <p>◇公共放送で働く意識を高く持ち、適正経理の推進とコンプライアンスの徹底を図ります。岐阜局NOハラスメント宣言の精神を一人一人が実践し、風通しのいい働きやすい職場づくりとコミュニケーションの活性化を進めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓